

新調 子どもみこし披露 都路



除染を終えた会場で元気にみこしを担ぐ子どもたち

東京電力福島第一原発事故に伴う旧緊急時避難準備区域にある田村市都路町第七行政区は三日、

区内の集会所で子どもみこしを催した。

行政区は今年度、宝くじ助成金を受けてみこした。

や法被を新調したが、お披露目の機会を失っていた。区域が解除されたため、地元の大亀神社の例大祭に合わせ披露することを決め、集会所周辺の除染などを進めてきた。

地元の小中学生や未就学児が避難先の同市船引町や三春町から駆け付け、みこしを担いで元気に練り歩いた。豚汁や焼き肉なども振る舞われ、住民同士が交流を深めた。

テレ業など約三十社で構